

**麻疹(はしか)の予防接種を  
受けましょう**

二〇才位の人に多いはしか  
昨年、今年、一〇代から二〇代の人にはしかが集団発生しました。昨年、そのために休校になった大学がいくつかあり印象に新しいと思います。

今年も、神奈川県でも2、3の高校で学級閉鎖や休校になった学校があります。予防接種の接種率が七〇%台と低いのが主な原因です。外国からは、日本は「はしか」の輸出として名指しで非難されています。

小児科医は、国際学会で情けない思いをしていきます。  
アメリカでは「はしか」の予防接種がしていないと学校に入学できません。

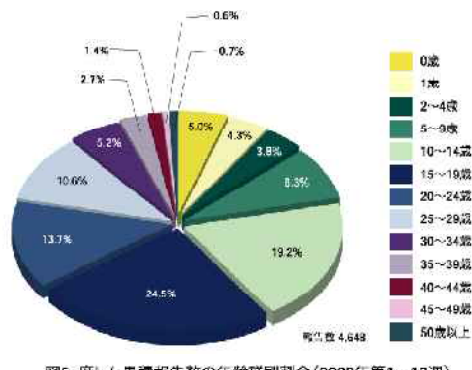


図5. 麻疹系統報告数の年齢別割合(2008年第1~12週)

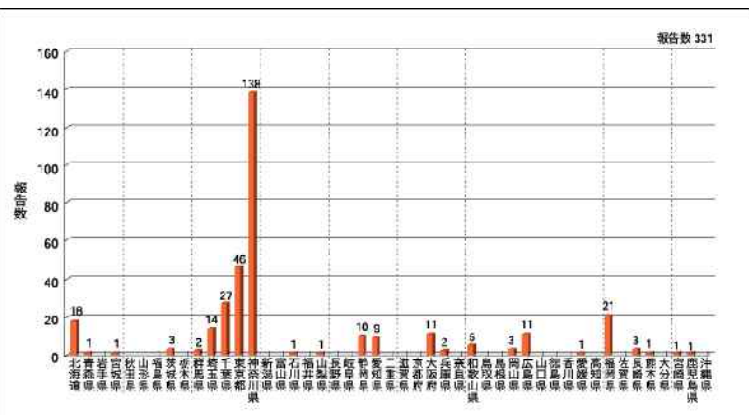


図2. 麻疹の都道府県別報告状況(2008年第12週)

**「はしか」の症状**



以前子供は、かならず1回は惟つて様子はだれでも知っていました。がこの頃では少なく医者でも知らない者がいるくらいです。

**発熱(二峰性発熱)**

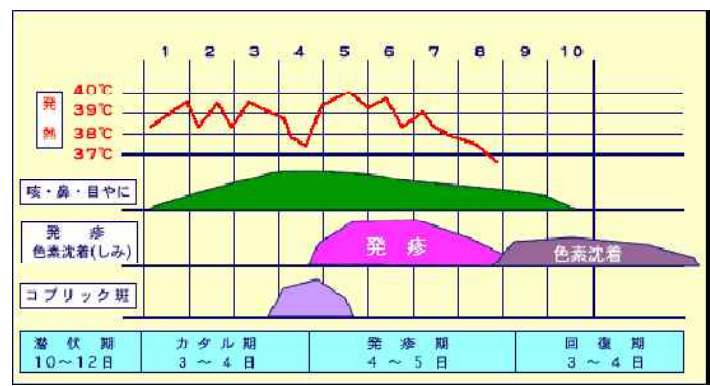
三十八度〜三十九度の高熱が3〜4日続き、いったんやや下がりが味となります。その後、発疹の出現とともに、再度三十九度〜四十度の高熱が数日続きます。

**咳**

あまり痰のからまない咳ですが、かなり強くできます。そのうち、痰がからんでくることが多いようです。

**目やに**

黄色や黄緑色の目やにが数日続きます。(結膜炎)



**発疹**

4日目ぐらいから出現することが多く、最初は2〜3mm程度の丸い紅色の発疹が顔面や首に出現します。発疹は胸や腕に拡大し、そのうち背中やお腹、足にも広がります。それ

くらいになると発疹同士が融合し、色も暗褐色と変化し、徐所に色素沈着(しみ)を残し治っていきます。色素沈着は、1〜2週で消えていきます。

**コプリック斑**

発疹出現1日〜3日前から出るものが多く、ほつたの裏側に白色の斑点が約2日間程度で消えます。

**「はしか」の合併症**

肺炎や脳炎など合併することがあり、二〇才頃の者では重症化するものも多いので入院することが多くなります。治療は一般的対症療法です。

対策はワクチンの予防接種しかありません。

**「はしか」の予防接種**

2006年6月より予防接種の方法が変わりました。はしか(麻疹)と風疹の混合ワクチンを使います。

**2008年4月〜5年間**

- MRワクチン(麻疹風疹ワクチン)定期接種対象者
- 第一期 一才〜二才未満
- 第二期 小学校就学前の1年間
- 第三期 中学1年生
- 第四期 高校3年生

**5月・6月の休診日**

休診 日曜・祭日  
午後休診 水曜・土曜

6月14日(土)から  
6月19日(木)まで  
休診

E・メールを送って下さい。  
norikazu@okutu.jp



みなさんの質問や投稿をお待ちしております。  
受け付けからのお願ひ  
月初めには必ず保険証を  
受け付けにお出し下さい。  
診察券は毎回お持ち下さい。  
編集に当たり校正には十分注意致しましたが、誤字・脱字等がありましたらご容赦下さい。